

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	宮城学院女子大学
設置者名	学校法人宮城学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	夜・通信	6	20		26	13	
教育学部	教育学科	夜・通信	6	15		21	13	
生活科学部	食品栄養学科	夜・通信	6	11	7	24	13	
	生活文化デザイン学科	夜・通信			8	25	13	
学芸学部	日本文学科	夜・通信	6	2	10	18	13	
	英文学科	夜・通信	6	2	12	20	13	
	人間文化学科	夜・通信	6	2	10	18	13	
	心理行動科学科	夜・通信	6	2	10	18	13	
	音楽科	夜・通信	6	2	12	20	13	
	食品栄養学科	夜・通信	8		10	18	13	
	生活文化デザイン学科	夜・通信	8		10	18	13	
	発達臨床学科	夜・通信	8		10	18	13	
国際文化学科	夜・通信	8		7	15	13		
(備考) ・学芸学部食品栄養学科、学芸学部生活文化デザイン学科、学芸学部発達臨床学科、学芸学部国際文化学科は2016年度から募集停止をしている。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.mgu.ac.jp/main/about/information/index.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 無し

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	宮城学院女子大学
設置者名	学校法人宮城学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公表方法： http://www.mgu.ac.jp/home/disclosure/index.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
長井 祥子 非常勤	元中学校・高等学校教諭	平成28年5月15日（平成28年11月28日重任）～令和元年11月27日	組織運営体制へのチェック機能、及び経営計画の策定
保科 けい子 非常勤	牧師	平成28年11月28日～令和元年11月27日	組織運営体制へのチェック機能、及び経営計画の策定
松舘 忠樹 非常勤	元放送局職員	平成25年11月28日（平成28年11月28日重任）～令和元年11月27日	組織運営体制へのチェック機能、及び経営計画の策定
海野 道郎 非常勤	元大学学長	平成28年11月28日～令和元年11月27日	組織運営体制へのチェック機能、及び経営計画の策定
大泉 一貫 非常勤	元大学教授	平成25年11月28日（平成28年11月28日重任）～令和元年11月27日	組織運営体制へのチェック機能、及び経営計画の策定
佐久間 敬子 非常勤	弁護士	平成22年11月28日（平成28年11月28日重任）～令和元年11月27日	組織運営体制へのチェック機能、及び経営計画の策定
石川 幹子 非常勤	大学教授	平成25年11月28日（平成28年11月28日重任）～令和元年11月27日	組織運営体制へのチェック機能、及び経営計画の策定
田中 弘志 非常勤	元学校法人院長	平成25年11月28日（平成28年11月28日重任）～令和元年11月27日	組織運営体制へのチェック機能、及び経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宮城学院女子大学
設置者名	学校法人宮城学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>毎年、授業概要、到達目標、授業計画、評価方法・基準、準備学習等の記載事項や新規変更点について、留意点や記載例を掲載したシラバス作成要領を作成し、全教員に配布している。更に専任教員を対象としシラバス作成についてのFD研修を実施している。</p> <p>各教員が作成したシラバスは教務センター担当教員並びに学科長の確認修正作業を経て、ウェブで公表している。シラバスの作成は11月から開始し、ウェブ公開は翌年3月に行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	https://unipa.mgu.ac.jp/up/faces/login/Com00505A.jsp
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>各学生の学修成果をシラバス記載の成績評価方法に基づき、試験結果、平常点等を加味し、各教員が評価する。また、教員の評価が適切であることを教務センター担当教員が学修支援システムを通して確認できるように、システム運用を行っている。</p> <p>学生は、単位を認定するために実施される試験は必ず受けなければならない、履修登録を正しく行っていない科目、授業の1/3以上欠席した場合などは試験を受験できない。また、成績発表後に、シラバスに記載された評価方法・基準等を確認し照らし合わせた結果、評価に疑問がある場合は、指定期間内に担当教員に評価の確認ができる。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>2016年度よりG P A制度を運用し、学生へ配布する学生便覧に掲載及びウェブ公開をしている。G P Aの算出は不合格科目や履修放棄科目も対象科目としており、学生にはしっかりと履修計画を立てることを周知し、履修指導に利用している。</p> <p>G P Aの算出方法は100～90点(評価S)が4.0、89～80点(評価A)が3.0、79～70点(評価B)が2.0、69～60点(評価C)が1.0、59点以下(評価不可又は放棄)が0.0とし、$G P A = (4.0 \times S \text{ 修得単位数} + 3.0 \times A \text{ 修得単位数} + 2.0 \times B \text{ 修得単位数} + 1.0 \times C \text{ 修得単位数}) / \text{総履修単位数 (不可・放棄の科目の単位数を含む)}$としている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.mgu.ac.jp/main/about/information/binran/index.html (当該webページ「■履修登録」8枚目(学生便覧34ページ)参照)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定・学位授与方針は、学部学科別に定め、ウェブで公表している。認定は、ポリシーに沿って定める履修方法に従って卒業単位124単位以上が修得されているかを各学科で判定の後、教務部委員会での審議及び判定、教授会の議を経て学長が決定する手続きとしている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.mgu.ac.jp/main/about/diplome/index.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	宮城学院女子大学
設置者名	学校法人宮城学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.mgu.ac.jp/home/disclosure/index.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.mgu.ac.jp/home/disclosure/index.html
財産目録	http://www.mgu.ac.jp/home/disclosure/index.html
事業報告書	http://www.mgu.ac.jp/home/disclosure/index.html
監事による監査報告(書)	http://www.mgu.ac.jp/home/disclosure/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.mgu.ac.jp/main/about/hyouka/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 現代ビジネス学部
教育研究上の目的 (公表方法： http://www.mgu.ac.jp/main/about/information/index.html) (概要) 現代ビジネス学部では、ビジネス学分野に関する総合的な教育研究を通して、これらの領域の基本的な知識や実践力を身につけ、ビジネス学の理論と実践の関係について理解し、総合的に実践する応用能力の修得に向けた教育を行う。このような応用能力を有した幅広い職業人の育成を行うことにより、地域社会への貢献を目指すことを教育研究上の目的としている。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://www.mgu.ac.jp/main/about/diplome/index.html) (概要) 本学部は、次のような学修成果をあげ、所定の単位を修得した者に、学士の学位を授与する。 1. 現代のビジネスを遂行するために必要とされる基礎的な知識と学力を備えている。 2. ビジネスの実践の場で、課題を発見し解決に取り組むことができる能力がある。 3. ビジネスの場面で使用できる英語の基礎的な学力を有している。 4. 変動する時代や社会において、人間にふさわしい社会のあり方を模索する意欲と能力を備えている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： http://www.mgu.ac.jp/main/about/curriculum/index.html) (概要) 本学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を達成するため、次のようなカリキュラムを編成する。 1. 専門教育科目は、基礎科目／基幹科目／発展科目を 1 - 4 年次まで学年に応じ段階的に配置する。 2. マネジメントと観光・地域振興の各コースには、学生が科目を選択する方針として複数の履修モデルを設定する。 3. 全学年に配置する少人数制の演習授業と、必修の卒業論文により、論理的思考力、問題解決力、創造性を養う。 4. 2 - 3 年次に演習授業と対をなす実習科目を配置し、実践的な活動を通じたプロジェクト型学習を推進する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： http://www.mgu.ac.jp/main/about/admission/index.html) (概要) 本学部は、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れる。 1. 本学科の特質である観光、国際、地域といった実践の場で活躍したいという意欲がある。 2. ビジネス学の基礎である、経営学やマーケティング、商品流通、経済学、会計学、情報処理を学ぶ意欲がある。 3. ビジネスの場面で使用できる英語を修得し、様々なビジネス・シーンで活かす目的意識をもっている。 4. 様々な社会現象や社会問題に対してビジネス学を通して考察し、具体的提案をする意欲がある。

学部等名 教育学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：http://www.mgu.ac.jp/main/about/information/index.html)</p>
<p>(概要) 教育学部では、教育学・保育学に関する教育研究を通して、これらの領域の基礎的・基本的な知識や技術及び技能を身につけ、理論と実践の関係について理解し、総合的に実践する応用能力の修得に向けた教育を行う。学校や家庭・地域における教育・保育を主体的に創造する能力と態度を身につけた幅広い職業人を育成することで、地域社会への貢献を目指すことを教育研究上の目的としている。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.mgu.ac.jp/main/about/diplome/index.html)</p>
<p>(概要) 本学部は、次のような学修成果をあげ、所定の単位を修得した者に、学士の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学や保育学の基礎的知識と幅広い教養、教職の専門性を身につけている。 2. 子どもの健やかな成長や発達を支援するための実践力を備え、実践力を維持し生かそうとする意識をもっている。 3. 各専攻の理念を具体化したカリキュラムにおいて、必要な単位を修め、卒業論文が一定の水準を満たしている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.mgu.ac.jp/main/about/curriculum/index.html)</p>
<p>(概要) 本学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を達成するため、次のようなカリキュラムを編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教師や保育者に必要な知識や教養を学ぶ基礎科目の上に、教職・保育職の専門教育科目（講義・実習）を配置する。 2. 少人数で卒業研究に取り組み、より高い専門性と研究的素養を備えた実践者となるよう科目を配置する。 3. 理論と実践の往還を重視し、地域や現場で学ぶことができるようなカリキュラムに編成する。 4. 卒業後、実務等を通して、新たな知識や能力を体得していくための資質や能力を育成できるよう配慮する。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.mgu.ac.jp/main/about/admission/index.html)</p>
<p>(概要) 本学部は、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学や保育学、関連諸科学の専門的な学びに対する強い興味と関心を持ち、学部教育に向けての学習意欲を有している。 2. 高等学校で履修した科目について、教科書レベルの基本的な知識を有し、基礎的な課題を解くことができる。 3. 自分の考えを口頭や文章により適切に表現することができ、他者に対して的確に伝えることができる。

学部等名 生活科学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：http://www.mgu.ac.jp/main/about/information/index.html)</p>
<p>(概要) 生活科学部では、食品栄養学分野と生活文化デザイン学分野に関する教育研究を通して、専門分野の基礎的・基本的な知識や技術及び技能を身につけるとともに、理論と実践の関係について理解し、総合的に実践する応用能力の修得に向けた教育を行う。家庭や地域の生活を主体的に創造する能力と態度を身につけた幅広い職業人を育成することで、地域社会や地域産業への貢献を目指すことを教育研究上の目的としている。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.mgu.ac.jp/main/about/diplome/index.html)</p>
<p>(概要) 本学部は、次のような学修成果をあげ、所定の単位を修得した者に、学士の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人文科学、社会科学、自然科学分野の広い教養を有している。 2. 生活を科学的にとらえるための基礎的知識を修得している。 3. 食習慣・生活習慣・生活文化・生活環境の問題点を見つけ出し、それを解決する方法を見つけ出す能力を有している。 4. 各学科の専門知識・技術を身につけ、専門家として他者の生活の質の向上の支援に関わる仕事をする能力を有している。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.mgu.ac.jp/main/about/curriculum/index.html)</p>
<p>(概要) 本学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を達成するため、次のようなカリキュラムを編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1年次には各領域の基礎的知識と教養系科目を中心に配置する。 2. 2年次から3年次にかけて専門知識及び技術の修得をねらいとする専門教育科目を配置する。 3. 4年次には生活を科学的にとらえることを学習目標とした卒業研究、卒業論文・設計を配置する。 4. 学修成果をあげるために、①講義、②演習、③実験・実習（教育実習や臨地実習も含む）などの教育方法を組み合わせる。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.mgu.ac.jp/main/about/admission/index.html)</p>
<p>(概要) 本学部は、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食品栄養学あるいは生活文化デザイン学の領域に興味を有している。 2. 修学の基礎となる知識や能力、コミュニケーション能力を有し、主体的に学習に取り組むことができる。 3. 地域社会や地域産業へ貢献する力を身につけたいとの意欲を有している。 4. 生活の問題点を見出し、主体的で創造的な生活の実現を支援したいという目的意識を有している。

学部等名 学芸学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：http://www.mgu.ac.jp/main/about/information/index.html)</p>
<p>(概要) 日本文学科、英文学科、人間文化学科、心理行動科学科、音楽科から成る学芸学部では、各専門分野に関する教育研究を通して、基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、現代社会が抱える多様な問題を解決できる応用能力の修得に向けた教育を行う。幅広い分野に関する知識と実践力を有した幅広い職業人を育成することで、地域社会及び国際社会への貢献を目指すことを教育研究上の目的としている。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.mgu.ac.jp/main/about/diplome/index.html)</p>
<p>(概要) 本学部は、次のような学修成果をあげ、所定の単位を修得した者に、学士の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各学科が掲げる教育理念・教育目標に沿って設定した科目（演習や卒業論文等を含む）において所定の単位数を修得している。 2. 各学科のディプロマ・ポリシーを満たしている。 3. 各学科の専門知識や技術に加え、幅広い教養を修得し、現代社会に貢献する能力を発揮でき得ると認められる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.mgu.ac.jp/main/about/curriculum/index.html)</p>
<p>(概要) 本学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を達成するため、次のようなカリキュラムを編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リベラル・アーツ教育により、幅広い視野を育む大学の学びとなる基礎教育を、全学科に配置する。 2. 学生の一人ひとりの能力を最大限に引き出し、学生自身が将来を切り開くことを可能にするために、少人数教育で適切な指導を行う。 3. 学士にふさわしい分析力、思考力、問題解決能力、プレゼンテーション能力、専門的知識と技術を身につけられる科目を編成する。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.mgu.ac.jp/main/about/admission/index.html)</p>
<p>(概要) 本学部は、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入学後の学修に必要な基礎学力を有している。 2. 自分が入学を希望している学科のアドミッション・ポリシーを理解している。 3. 各学科の専門知識を修得すると同時に、幅広い教養を身につけることに意欲がある。 4. 現代が直面する多様な問題を理解し、地域社会および国際社会に貢献したいと願っている。 5. 自由に創造的に生きるために、考える習慣を身につけ、新しい自分を創造し、大きく成長することを願っている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.mgu.ac.jp/main/about/soshikizu/index.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
—	3人	—					3人
現代ビジネス学部	—	10人	人	人	人	人	10人
教育学部	—	24人	3人	人	1人	人	28人
生活科学部	—	10人	7人	人	人	人	17人
学芸学部	—	21人	11人	人	2人	人	34人
教養部（一般教育）	—	8人	7人	人	人	人	15人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
—		393人					393人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： http://www.mgu.ac.jp/main/about/teaching_staff/dept_list/index.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
現代ビジネス学部	95人	109人	114%	380人	404人	106%	若干名	0人
教育学部	170人	199人	117%	680人	737人	108%	若干名	0人
生活科学部	160人	177人	110%	640人	654人	102%	若干名	0人
学芸学部	325人	384人	118%	1300人	1412人	108%	若干名	0人
合計	750人	869人	115%	3000人	3207人	106%	若干名	0人
(備考)								
—								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
学芸学部	625人 (100%)	9人 (1.4%)	553人 (88.5%)	63人 (10.1%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	625人 (100%)	9人 (1.4%)	553人 (88.5%)	63人 (10.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>毎年、授業概要、到達目標、授業計画、評価方法・基準、準備学習等の記載事項や新規変更点について、留意点や記載例を掲載したシラバス作成要領を作成し、全教員に配布している。更に専任教員を対象としシラバス作成についてのFD研修を実施している。</p> <p>各教員が作成したシラバスは教務センター担当教員並びに学科長の確認修正作業を経て、ウェブで公表している。シラバスの作成は11月から開始し、ウェブ公開は翌年3月に行っている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>各学生の学修成果をシラバス記載の成績評価方法に基づき、試験結果、平常点等を加味し、各教員が評価する。また、教員の評価が適切であることを教務センター担当教員が学修支援システムを通して確認できるように、システム運用を行っている。</p> <p>卒業認定・学位授与方針は、学部学科別に定め、ウェブで公表している。認定は、ディプロマポリシーに沿って定める履修方法に従って卒業単位124単位以上が修得されているかを各学科で判定の後、教務部委員会での審議及び判定、教授会の議を経て学長が決定する。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	124単位	有・無	単位
教育学部	教育学科	124単位	有・無	単位
生活科学部	食品栄養学科	124単位	有・無	単位
	生活文化デザイン学科	124単位	有・無	単位
学芸学部	日本文学科	124単位	有・無	単位
	英文学科	124単位	有・無	単位
	人間文化学科	124単位	有・無	単位
	心理行動科学科	124単位	有・無	単位
	音楽科	124単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： http://www.mgu.ac.jp/main/about/campusmap/index.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)	
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科 1 年	757,000 円	240,000 円	236,000 円	入学金、授業料以外に徴収する費用 (施設設備整備費、グループ研修費、循環器等検査料、実習料)	
	現代ビジネス学科 2 年	757,000 円		223,400 円		
	現代ビジネス学科 3 年	757,000 円		223,400 円		
	現代ビジネス学科 4 年	757,000 円		224,200 円		
教育学部	教育学科 1 年	808,000 円	240,000 円	215,700 円		
	教育学科 2 年	808,000 円		205,400 円		
	教育学科 3 年	808,000 円		205,400 円		
	教育学科 4 年	808,000 円		206,200 円		
生活科学部	食品栄養学科 1 年	892,000 円	240,000 円	229,300 円		
	食品栄養学科 2 年	892,000 円		228,100 円		
	食品栄養学科 3 年	892,000 円		221,400 円		
	食品栄養学科 4 年	892,000 円		222,200 円		
	生活文化デザイン学科 1 年	853,000 円	240,000 円	229,500 円		
	生活文化デザイン学科 2 年	853,000 円		219,400 円		
	生活文化デザイン学科 3 年	853,000 円		219,400 円		
	生活文化デザイン学科 4 年	853,000 円		220,200 円		
学芸学部	日本文学科 1 年	713,000 円	240,000 円	201,000 円		
	日本文学科 2 年	713,000 円		196,400 円		
	日本文学科 3 年	713,000 円		196,400 円		
	日本文学科 4 年	713,000 円		197,200 円		
	英文学科 1 年	713,000 円	240,000 円	214,500 円		
	英文学科 2 年	713,000 円		210,400 円		
	英文学科 3 年	713,000 円		210,400 円		
	英文学科 4 年	713,000 円		211,200 円		
	人間文化学科 1 年	713,000 円	240,000 円	211,000 円		
	人間文化学科 2 年	713,000 円		198,400 円		
	人間文化学科 3 年	713,000 円		198,400 円		
	人間文化学科 4 年	713,000 円		199,200 円		
	心理行動科学科 1 年	757,000 円	240,000 円	234,800 円		
	心理行動科学科 2 年	757,000 円		223,400 円		
	心理行動科学科 3 年	757,000 円		223,400 円		
	心理行動科学科 4 年	757,000 円		224,200 円		
	音楽科 1 年	1,004,000 円	330,000 円	626,300 円		入学金、授業料以外に徴収する費用 (施設設備整備費、グループ研修費、循環器等検査料、演奏実技運営費、実習料、楽器使用料)
	音楽科 2 年	1,004,000 円		624,400 円		
	音楽科 3 年	1,004,000 円		624,400 円		
	音楽科 4 年	1,004,000 円		625,200 円		

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 宮城学院では、勉学に意欲をもちながらも家庭の経済的理由で修学が難しい学生の方に対し、学資を貸与又は給付することにより、経済的な負担を軽減し、安心して学生生活を送れるようにサポートするため、4種類の給付型奨学金制度を設けている。その他、宮城学院学業特待奨学金や授業料減免制度を設けている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) ①年間12回、様々な分野で活躍している女性の話を聞く「キャリアアップセミナー」を行っている。女性の多様な生き方のロールモデルとなっており、講師の方の所属会社は、学生達のエントリー上位に上がるなど、就職活動の範囲を広げることに役立っている。また講師の中にはOGもいるため、より具体的な将来像を描く手助けになっている。 ②3年生・院1年生対象に年間20数回「就職ガイダンス」を行っている。夏のインターンシップに向けての業界研究や自己分析、内定をもらった4年生（ジュニアアドバイザー）の就職活動体験談、SPI対策などを行っている。 ③1日約30名、週約150名との面談ができる体制を整えており、主に4年生に対し、面談練習・履歴書添削、進路相談など、個人に合わせたきめ細やかな支援を行っている。昨今は3年生以下のインターンシップのためのエントリーシートの添削相談も増えている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生時代は「自分の健康は自分が守る」という意識を自ら育み、将来に向けて、健康の保持増進のための生活習慣を身につけるべき大切な時期であると捉え、保健センターでは、それらを支援するために、定期健康診断や健康相談、応急処置などを行っている。 学生相談室では、相談員が学生のさまざまな悩みを聴き、問題の軽減やより良い方向を見つけるために一緒に考え、また、特別支援室では、障害のある学生や特別な配慮が必要な学生のための相談と合理的配慮の提供を調整している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.mgu.ac.jp/main/about/information/index.html>